



災害時のトイレに困らないよう、携帯トイレを備えておきましょう。

過去の地震では、上下水道に被害が出るなどし、1ヶ月以上自宅のトイレが使えないこともありました。上下水道が復旧するまでの間や、避難所などに仮設トイレが設置されるまでの間は、携帯トイレを使いましょう。長期化に備え、多めに準備できると安心です。

家での備え **4**
災害時のトイレ



携帯トイレを選ぶコツ・使うコツ

- 地震で水道が被害を受け、水が出なくなる。
- 無理やり、水を流してしまうと…。
- つまったり、汚水が逆流してしまうことも。
- 水洗トイレが使えない時は、携帯トイレを使用。

使うコツ

ポリ袋(45ℓ程度)を便座に被せる。

その上から、携帯トイレを設置。

携帯トイレの袋だけを取り出し、空気を抜いて口を強くしぼる。
※排せつ後、携帯トイレだけを交換すれば、底面に水が付かず、家の中が汚れない。

備えておく携帯トイレの量

1人1日 約5回 × 家族の人数分 × 7日分 = 約140枚必要

4人家族の場合……
トイレ回数は1人1日5回で想定し、家族7日以上備蓄しましょう。

※1枚を何回か使うと節約することができます。
参考:1回当たりの尿量は、成人で200~400ml、高齢者で100~150ml(商品の吸収力を確認してから使いましょ)

使用済み携帯トイレの処理方法

生活ゴミが回収されるまで密閉できる容器に保管しておく(和光市では、可燃ゴミとして処理できます。)

集合住宅や会社でのトイレの注意点

- 集合住宅などの建物で排水管が破損すると、トイレを使った際に下層階で汚水があふれ出ることがあります。
- 大地震の後は安全確認が終わるまでトイレの水を流さないようにするなど、ルールを決めておくことが大事です。

身の回り品でつくる緊急用トイレ

- ポリ袋(45ℓ程度)を便座に2重にかぶせる。
- くしゃくしゃにした新聞紙をポリ袋の中に敷き詰める。
- 用を足す。
- 消臭効果のあるものを上からかける。
- 内側のポリ袋を取り出し、空気を抜いて口を強くしぼる。
- 生活ゴミとは分別し、収集まで保管する。

備えておく携帯トイレグッズ

- 保管用密閉袋** チャック付きの密閉袋で保管し、においをカット。
- ポリ袋** 携帯トイレの設置時や緊急用トイレで使用します。
- LEDランタン** 周囲を広く照らすランタンタイプがオススメ。
- トイレットペーパー** 災害時には食料だけでなくトイレットペーパーも不足します。
- ウェットティッシュ** 水がないときでも清潔に。手指だけでなく便器にも。
- 消毒剤** 手の衛生は、感染症を防ぐうえでとても重要です。
- 除菌洗剤** こまめに拭き掃除をし、感染症予防に。
- 消臭剤** スプレータイプのものなど、多めにストックを。